

表2 平成20年6月29日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	7,061	634	7,695	962	1,296	2,258	8,023	1,930	9,953
	異性間の性的接触	1,740	514	2,254	318	753	1,071	2,058	1,267	3,325
	同性間の性的接触 ^{*1}	4,517	3	4,520	285	1	286	4,802	4	4,806
	静注薬物濫用	22	1	23	20	3	23	42	4	46
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 ^{*2}	138	31	169	33	19	52	171	50	221
	不明	631	77	708	302	513	815	933	590	1,523
エイズ患者	合計 ^{*3}	3,440	248	3,688	661	322	983	4,101	570	4,671
	異性間の性的接触	1,349	160	1,509	229	177	406	1,578	337	1,915
	同性間の性的接触 ^{*1}	1,300	2	1,302	98	2	100	1,398	4	1,402
	静注薬物濫用	13	3	16	20	0	20	33	3	36
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*2}	96	17	113	21	11	32	117	28	145
	不明	673	63	736	292	128	420	965	191	1,156
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2007年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成20年6月30日)	263 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	624 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2007年5月31日現在の報告数